

⑰ 公開実用新案公報 (U)

昭59—114905

⑯ Int. Cl.³
B 27 L 11/06

識別記号

序内整理番号
6850—2B

⑯ 公開 昭和59年(1984)8月3日

審査請求 有

(全 2 頁)

⑯ 鋸屑製造装置

⑯ 実願 昭58—8358
 ⑯ 出願 昭58(1983)1月26日
 ⑯ 考案者 相藤光国

足利市葉鹿町2261

⑯ 出願人 相藤精機株式会社
 足利市葉鹿町2261
 ⑯ 代理人 弁理士 福田信行 外2名

⑯ 実用新案登録請求の範囲

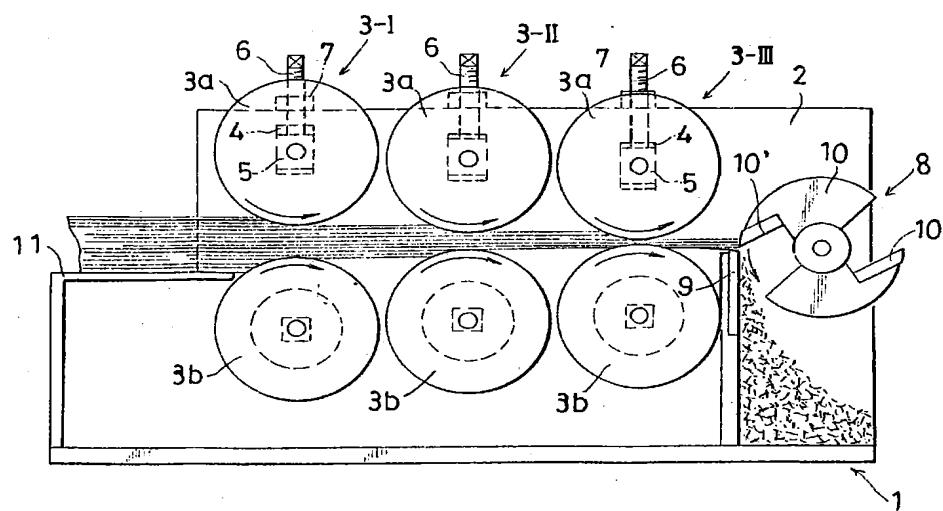
フレームの側板間に、上下に対向した対の圧縮ロールからなる圧縮装置を前後方向に二段以上設け、各圧縮装置の上下のロールの少くとも一方をその間に供給される屑木を前に送出する方向に回転駆動すると共に、上下のロールの上下方向の間隔を前のものほど小にし、最前端の圧縮装置の前にはその上下ロールが圧縮して送出する屑木を細かく剪断するカッタを設けたことを特徴とする鋸

屑製造装置。

図面の簡単な説明

図面は本考案の鋸屑製造装置の一実施例を示すもので、第1図は側板の一方を外した側面図、第2図は一半は前端、他半は後端から見た正面図で、図中、1はフレーム、2、2'は左右の側板、3-I, II, IIIは圧縮装置、3a, 3bはその上下のロール、8はカッターを示す。

第1図



第2図

